



東二幼だより

どろんこ

学校法人 曾根学園
東二番丁幼稚園
令和2年度 3月号

園庭の木々に注ぐお日さまがだんだん春らしくなり、花壇のチュウリップやクロッカスの芽が顔を出し始めています。子どもたちの進学・進級する期待の気持ちもますます膨らんできました。

何もかもが初めてでスタートした年少さんも今では「自分でやる」「できるから見ていて」と張り切っています。年中さんは進級し人数が倍になって戸惑うこともあった分楽しさも倍になり、毎日友達と一緒に遊びながら自分の気持ちを友達に伝えるようになってきました。また、年少児をリードしお別れ会の準備を進めてきました。そして今日年長児に感謝の気持ちを伝えます。年長さんは小さい友達に優しくかわり、すっかり年長児らしくなりました。もちろんみんなの憧れのお兄さんお姉さんです。今は卒園式には一番カッコいい姿を見せたいという気持ちで過ごしています。

今年度の残された園生活も今まで以上に「今日が楽しく 明日が待ちどおしい東二幼」で過ごしていきますので、最後まで見守って下さい。



節分豆まき会



レインボーランチ



卒園式

〈日 時〉16日(火) 10:00~10:40
年長児38名の晴れの卒園式です。年少・中児は前日に年長児にお祝いのことばを贈り、式当日は臨時休業日になります。

修了式

〈日 時〉17日(水) 9:40~10:00
年少児、年中児の一年を締めくくる大切な式です。進級への期待がさらにふくらむことでしょう。降園時に担任から年度末のまとめのあいさつをいたします。



預かり保育について

- 15日(月)は、卒園式準備のため月契約のみの利用とさせていただきます。
- 16日(火)は、**卒園式のため朝・帰り共にお休みとなります。**
- 春季休業中の預かり保育の計画を立てたいと思います。つきましては、春季休業中(3.4月)に一時利用を希望される方は、**3月5日(金)朝までに**一時利用の申込みの記入をお願いします。また、給食を希望される方(月契約・一時利用)は、**春季休業日給食申込書を3月8日(月)朝までに**、お金と一緒に申込みください。
- 春季休業中に預かり保育を利用する場合は、**各保育室を通らずに、プレイルームからお入りください。**
- 通園門は防犯上、**10:00~11:30と12:00~15:30まで施錠しています。**出入りの際は防犯上、必ず鍵を閉めていただくようご協力をお願いします。また、**鍵の開け閉めは保護者の方が行ってください。**
- 昼食は12:00からです。午前中のみ利用の方は11:30までにお迎えをお願いします。
- お昼寝は14:00~15:00です。15:00からおやつ時間の予定ですので、お迎えは15:30以降をお願いします。
- 利用するお子さんは、利用時間にかかわらず**水かお茶を入れた水筒**を持たせてください。
- 4月13日(火)は入園式のため、月契約のみの利用とさせていただきます。
- 新入園児の一時利用の開始は、5月10日(月)からになります。

お知らせ・お願い

- 本日文書でご連絡いたしました通り、新年度からの預かり保育料を改定させていただきます。そこで現在使用している“チケット”は4月から使用不可となりますので、年度末までに精算・払い戻しをいたします。ご希望の方は、別紙【預かり保育 チケット精算・払い戻し】表をご持参の上、**3月30日(火)までに職員室まで**お声掛けください。
- 新年度から、常時オムツを使用している場合は、オムツ処分料として月300円を徴収させていただきます。また、預かり保育時のお昼寝用寝具セットを月1,000円でリース提供いたします。
- 年度内に転居等のご予定のある方は、早めにお知らせください。

園長のひとりごと ～「和醸良酒」から学ぶこと～

生まれが新潟県ということもあり、若い頃から酒というと日本酒をたしなんでいました。自称「日本酒をこよなく愛す会」会長。日本酒はたくさんの工程を経てつくられます。それ故杜氏や蔵人の苦労も並大抵のものではないそうです。日本酒造りには「和醸良酒」(わじょうりょうしゅ)という言葉があります。「和の心は良酒を醸し、良酒は和の心を醸す。」という意味です。杜氏と蔵人がともに心を合わせて初めておいしい酒が造られるということを教えてくれる言葉です。「酒」を「子」に読み替えたらどうでしょう。「和醸良子」、幼稚園の子どもたちは私たち職員が心をつにして保育に当たってこそすくすく育ちます。東二幼では「職員の和」を大切に、互いの違いを認め合い協力することを大切にしています。子どもは幼稚園だけで育つわけではありません。幼稚園だけではなく家庭も含め、子どもを取り巻くすべての大人が「和」を大切に、仲良く協力して子どもに接することが「和醸良子」につながるのではないのでしょうか。そして、子どもがすくすく育つことで家庭の「和」も醸し出されるはず。コロナ渦でどうしても宅飲みが多くなるこの頃です。妻との和が乱れないよう気をつけなければ・・・と自戒の日々はまだまだ続きそうです。